



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

会長 神保伊和雄
副会長 堀口 廣司
直前会長 今井 武彦

2024年7月～2025年6月
国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
東新部部長主題 「ALL 東新部、試練を超えて進もう！」

書記 伊丹 一之
会計 福島和州太郎
担当主事 本多 良章

2024年12月例会（754回）

（ 強調月間：キリスト教理解、IBC ）

今月の聖句

自分の子供たちが真理を歩んでいると聞くほどうれしいことはありません。（ヨハネの手紙三 4）
Nothing makes me happier than to hear that my children live in the truth.
(The Third Letter of John 4)

能登半島地震災害・豪雨災害の 甚大な被害を忘れない！！

私共に出来る、息の永い支援を続けよう。

12月例会

日時 2024年12月17日（火） 18:00～20:00
場所 東京YMCA東陽町センター・YMCAホール
会費 ビジター 1,500円、メンバー 1,500円
※欠席の方は12/10までに今井まで連絡ください

12月 キリスト教理解、IBCについて

キリスト教理解:国際憲法には「イエス・キリストの教えは、ワイズ全体、クラブ、会員個人に至るまでの活動指針」となるものです。
IBC:International Brother Clubsの略。国際兄弟クラブのこと。現在は、IBCは実態上ない。（今井 記）

HAPPY BIRTHDAY

28日 伊丹 一之
結婚記念日おめでとう
該当者なし

12月 例会プログラム

第1部 クリスマス礼拝（18:00～18:30）
司式 本多 良章
奏楽 丸山もと子
クリスマスメッセージ 牧師 小松 美樹
クリスマス献金（東京YMCA国際協力募金）
第2部 クリスマス祝会（18:30～20:00）
司会 神保伊和雄
開会点鐘 会長 神保伊和雄
ワイズソング 一同
ゲスト・ビジター紹介 司会
今月の聖句・感謝 堀口 廣司
楽しい食事
強調月間アッピール 今井 武彦
ハッピーバースデー・結婚記念日 司会
スマイル 神保伊和雄
諸報告 本多 良章 他
閉会挨拶 今井 武彦
閉会点鐘 会長 神保伊和雄

2024年11月の記録（*累計は期初からの24累計）

会員出席状況	教	メーキャップ記録	スマイル	金額
正会員 7名	出席(メネット) 0名			9,700円
功労会員 1名	出席(コメント) 0名		BFポイント	現金累計 円
在籍者数 8名	出席(ゲスト) 1名			切手累計
出席(正会員) 5名	出席(ビジター) 0名	0名	リングブル	累計 163.4kg
出席(功労会員) 1名	例会出席総数 7名	11月出席率 71%	むかで基金	今月分 22,100円

会費振込 みずほ銀行 亀戸支店（普通）3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

11月例会報告

東京むかでワイズメンズクラブ11月の例会は、11月19日(火)午後6時より、東京YMCA東陽町センターホールにおいて開催されました。



【望月温さんを迎えての東京むかで11月例会】

スピーカーは望月温さん(医療福祉専門学校事務局長)
【写真右下】で10月17日～20日の4日間、ホテル専門学校の教員と学生総勢15名のチームの一人として参加。

18日(金)は東陽中学校の近くのお宅のビニールハウス2棟と物置小屋の備品整理と泥の掻き出しを行う。平日のボランティア参加者は少なく、今回のようなまとまった人数での参加は喜ばれた。20分作業 - 10分休憩のリズムを崩さずスムーズに作業が進み、2時間半の限られた時間でしたが、粘り気と粘土を含む泥は重く、全員が作業早々息が上がる程の作業でしたが、2時間半全て依頼されたことを達成することができました。



【学生ボランティアによる泥掻きの様子】

19日(土)はあいにくの強雨となりましたが、土日は一般のボランティアが大型バスで訪れるため、場所の振り分けが大変とのこと。前日にボランティアセンターと打合せ、午前中は「長光寺」の清掃活動をするを予定していましたが、元旦以降10ヶ月間そのままになっていた本堂内

の備品の運び出しや畳や廊下の清掃作業を行い、終日の作業となりました。埃や土が散乱している部屋を雑巾掛けできれいに掃除をし、少しでもご住職が過ごしやすい環境を整えました。お昼は檀家の皆さんのお手製おにぎりとお味噌汁のおもてなしを受け、皆、遠慮なくお腹いっぱいごちそうになってきました。

帰りの宿までのバスで、学生さんが「この体験を楽しかったとだけ伝えるのではなく、貴重な経験として、能登の皆さんとの交流を含めた他人事ではない経験として伝えたい。」と話していたそうです。

ホテル学校の卒業生(望月さんが担任)が経営する、輪島ねぶた温泉「能登の荘」での宿泊が現在できない(ガス・水道不通)にもかかわらず、特別のご配慮で宿泊出来たことにより、今回の企画が実現したこと。他の支援団体にも開放してくださっている。今でもホテル学校の卒業生からのミネラルウォーターをはじめ様々な物資が届き、近隣の断水している方々への配布もされている。(堀口 記)
出席者:神保、今井、伊丹、長谷川、福島、堀口、本多
ゲストスピーカー:望月温 (敬称略)

東新部第2回評議会報告

11月23日(土)14:00～16:30に東京YMCA東陽町センターで、東新部第2回評議会が、ハイブリッド方式で開催されました。

今井部長の点鐘で開会、参加者全員でワイズソングを斉唱しスタート。聖書朗読・祈祷は綿引CS/Yサ事業主査、部長挨拶がありました。出席者は、委任状1名を含む全員出席の19名でした。

議案審議の主要事項

- ① 次期部長交代。比奈地次期部長体調不調につき、代わって深尾直前部長が次期部長に就任を承認。
- ② 次期部役員承認。CS/Y サ事業主査・峰毅(多摩スマイル)、会員増強主査・綿引康司(多摩スマイル)、国際・交流主査・為我井輝忠(多摩スマイル)各氏が新たに選任された。部監事には加藤義孝氏(東京)が選任された。
- ③ 10/5 開催の東新部部大会報告、決算報告。渡邊実帆 実行委員長、石田孝次会計。
- ④ 2025-26 年度部大会について。渡邊実帆準備委員長。
- ⑤ 部則等の一部改訂(部会員数減少に対応し、役員数の削減実施)を承認。今井部長。
- ⑥ 東新部 EMC セミナー開催(来年 3/1)について承認。伊藤幾夫 LT 委員長。
- ⑦ BF 代表為我井輝忠氏(多摩スマイル)への部補助金 2 万円支出を追認。今井部長。

報告事項

- * センテナークラブ解散の経緯説明(今井部長)
 - * 東新部会計中間報告とメタノイア席上献金依頼(石田会計)
 - * 故城田教寛さん偲ぶ会報告(伊藤幾夫書記)
 - * 各事業主査報告
 - * クラブ会長報告
 - * YMCA報告(本田良章担当主事)
- 松香・長澤両監事講評
東新部の歌、部長による閉会点鐘でお開きとなりました。
(今井 記)

出席者：神保、伊丹、本多、今井、委任状出席・福島

穏やかな水彩画が誕生するか？

松戸市小金原に50年ほど前に建てられた、小さな家の主(あるじ)には最近、気になることがあります。手紙やはがきに「・・・相変わらずバタバタした毎日を・・・」が文章の書き出しになっていることです。

その主は、14年ほど前から体調不良の妻に寄り添い、妻のお役目を含め、様々な要件に答え乍らの日々を送っています。親しい方々へのご挨拶の文面に、無意識の中に「・・・相変わらずバタバタ・・・」が書き出しになるのは、本人の体調不良や、10数年の寄り添いからの疲れからの視野の狭さなどがそうさせるのでは、と思うからです。

ここでは主の住いや、地域住環境を紹介することにいたします。松戸市の北東部、国道6号の南に位置する小金原地域は、1969年(昭和44年)に旧・日本住宅公団、現在の都市再生機構によって約50%が分譲、賃貸の集合住宅、残りが戸建て用の宅地の構成で開発されました。

東西・南北約2km強の大規模開発で、東西・南北に幹線道路が三本通り、それぞれに3.5mの歩道が配され、銀杏、カナディアン楓、櫻、栃の木、ニセアカシアなどで並木を構成、季節の風を運びます。中央部には松戸市の支所、郵便局、病院、スーパー2店舗と個人商店街などが計画され、並んで野球場を含むグラウンド、住民受け入れの広場がつながり、周囲に、四季を彩る植栽は、50年の時間経過の中、極めて安定した自然が提供されています。

主の家は幹線道路の銀杏通りに面し、主は銀杏の四季を観るために、2階にリビング、ダイニング、キッチンを設け地域との馴染みを大切にしています。主は妻の体調を観て早朝6時から妻と公園周辺約2kmの散歩を日課にしています。妻が受け入れる唯一の外出でもあります。歩道は並木の根で持ち上がり、想像以上の起伏があり、健常者も足元に不安を覚えることがあり、妻との同伴は不可欠です。

主は健常であることが、この生活のすべてあることを日

頃から、自身に言い聞かせているようです。

「・・・バタバタ・・・」を意識した折には、間を見計らって周辺の自然や生活感に触れるため、そっと外出します。時には画材を担ぎ、趣味の水彩画を描きに脚を運びます。水彩画8号を仕上げるのに、限られた時間1時間から1時間半を三回ほど繰り返す必要があります。それでも今年は水彩画4点を、ある展覧会に出品しました。主がいつまでも、より視野を広げ、実り多い生活のリズムを掴んで欲しいと願っている地域の風たちがいます。(長谷川 記)

会長通信

早くも年末を迎え、上半期が終わろうとしています。今期のスタートは7月、東新部部長公式訪問、今井武彦東新部長はじめ東新部役員の皆様で幕を開け、8月はトミング・キャンプソングを軽妙なタッチのピアノで丸山もと子様にお願ひし、楽しい野尻キャンプならぬ東陽町ホールで夏の夜を楽しみました。9月は学習院大学の古庄信様より「シェイクスピアは三度がお好き?!」と題して講義を承りました、10月はTIASの奥和子様にはThe 15th Kids World CUP in Koreaで東京YMCAの小学生の活躍ぶりをたっぷりお話しいただいた。10月の卓話は医療福祉学院の望月温事務局長で、地震被害の輪島で豪雨災害の支援活動を皆様、例会ではお世話になりました。ご協力、ご援助、感謝でした。

クリスマス例会をみなで祝い、2025年を迎える準備をし、5月には待望のシニアY・Y・Yキャンプが予定されている。リーダースタッフのみならず、参加者の高齢化がチョット気にかかる。富士山と山中湖が我々を待っている。

(神保 記)

< 12月の予定 >

3日(火) 東京多摩スマイル・12月例会

5日(木) 東京町田コスモス・12月例会

8日(日) YMCAオープンハウス 東陽町センター

10日(火) 東京・12月例会

17日(火) 東京むかで・12月例会

23日(月) 東京むかで・12月第二例会(18:00~Zoom)

< 2025年1月以降の予定 >

21日(火) 東京むかで・1月例会

28日(火) 東京むかで・1月第二例会 Zoom

YMCAニュース

【クリスマス募金のお願い】

街中がクリスマスらしく彩られてきました。東京YMCAでは毎年この時期に「クリスマス募金」をお願いしています。貧困や災害などさまざまな困難を抱える方々のため、小さくても、私たちのできること持ち寄り、小さな働きかけをしてみませんか。ご協力をお願いします。

【実施報告】能登半島豪雨災害支援

9月21日～22日に石川県能登地方を襲った記録的豪雨の被災者支援のため、全国YMCAが連携して輪島市町野町にボランティアを派遣してきました。11月末までに全国YMCAで延べ175名(内東京YMCAの学生ボランティア、スタッフは37名)が、泥かきや物資の仕分けなどの支援活動に従事しました。また東京YMCAでは11月2日～4日に輪島市、七尾市、穴水町、志賀町の小学生14名を招待し、「のと未来キャンプ」を国立能登青少年交流の家で実施しました。(本多 記)

11月 第二例会 報告

11月26日(火)18:00～18:45にZoomにて第二例会を開催いたしました。

① 12月ブリテンの発行

福島ワイズ取りまとめ、ブリテンレイアウトは伊丹ワイズ担当。例会報告は堀口ワイズ。

② 12/8(日)の東陽町センターオープンハウスの件

午前中は、長谷川、堀口対応。午後は神保、伊丹、今井参加。賛助金1万円をYMCAへ献金。

③ 12月本例会の件

12/17(火)18:00～より開催。礼拝・懇親会。

小松牧師にクリスマスメッセージを依頼済。

今年の例会卓話者に、会長より参加呼び掛け。

弁当手配は、今井が担当。

④ 1月本例会の件

東京クラブが、枝野立憲民主党衆議院議員夫人を卓話者に招きます。むかでクラブとして例会に参加することにしました。(今井 記)

出席者:神保、伊丹、福島、今井

11月会計報告・リングプル報告

1 月間収入・支出合計 期間 11/1～11/30

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	9,000円	61,670円
活動基金部	22,100円	20,000円

■月次収支合計 : ▲50,570円

■現預金残高(現在): 540,921円

(収支の主な内訳)

・経常収入: 例会参加費 9,000円

・活動基金収入: スマイル 9,700円、寄付(ラッフル券) 10,000円、2,400円(残弁当販売)

・経常支出: 例会食事代 13,730円、講師謝礼 5,000円、仮払金(一時負担) 42,500円

・活動基金支出: オープンハウス支援金及びラッフル券 20,000円 (福島 記)

2 プルタブ 11月預かり分報告

外部からの応援に頼っている状態から脱出をしないといけない立場に置かれているような感じです。

12月の報告が待たれる。乞うご期待!?! (神保 記)

編集後記

今年も早いもので、もう師走に入りました。

年初に能登半島で巨大な地震があり、5月の連休には、DBCトライアングルで、当クラブからは神保会長と福島が、石巻広域クラブ・神戸ポートクラブの有志と共にボランティアに行きまして。まだ震災の爪痕が深く残る中、9月には豪雨で水害に見舞われ、さらに被害が拡大しています。DBCトライアングルでは、年内にもう一度ボランティアで入れないか、現在現地側と調整中です。YMCAの皆さんの献身的な活躍があつてこそ、私たちが現地に何うことができるということに、改めて深く感謝いたします。

世界に目を転じれば、ガザ・イスラエルでは戦火がやまず、ウクライナ戦争は開始から丸3年に迫ろうとしていて、再び核の脅威が世界を包み込もうとしています。また、今年も歴史的にも稀にみる選挙Yearでもありました。アメリカでは大統領が変わり、フランスやイギリス、ドイツでも大きな政変が起こっています。我が国においても、新しい首相を得ましたが、自民党の大敗により少数与党となり不安定な政権運営を強いられています。

私たち人類はいついどこへ向かっているのだろうか。そんな思いを抱きながら年末の時を過ごしています。それでも希望をもって、少しずつ自分にできる小さなことを積み重ねていきたいと思えます。そしてまた、そうした小さな活動が、ワイズメンでいるからこそできるのだ、という実感もしています。

話は変わりますが、今年読んだ本の中で最も印象に残っているのは、『THE GOOD LIFE 幸せになるのに、遅すぎることはない』(ロバート・ウォールディング、マーク・ショルツ著、児島訳)という書籍で、これはハーバード成人発達研究において、80年以上にわたり、2,000人以上の膨大な数の二世帯に渡る被験者たちの人生を追跡調査しつづけた、巨大な研究プロジェクトの成果の一部です。本書の中で、【注意と気配りは人生の本質である。相手に注意を向けるとき、私たちは、相手に自分の命・人生を与える。】という一節があります。限られた人生の時間の中で、慌ただしい日常を送る中で、自分は大切な人たちにきちんと注意と気配りを注いでいるのだろうか、自分の時間を他者のためにきちんと使っているのだろうか、反省する良い機会となりました。

今年一年、本当にお疲れさまでした。良い年をお迎えください。(福島 記)